

平成18年 5 月16日
原子力安全対策課
(1 8 - 1 0)
<19時30分記者発表>

美浜発電所 3 号機の定期検査状況について (格納容器内の水漏れ)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所 3 号機(加圧水型軽水炉；定格電気出力82.6万kW)は、第21回定期検査中のところ、本日15時13分、中央制御室で、格納容器サンプの水位が上昇していることを示す「格納容器サンプ水位上昇率高」の警報が発信した。運転員が現場を確認したところ、15時40分頃、仮設キャビティ浄化装置^{*1}のホースからの漏えいを確認した。

現場の作業員から聞き取り調査を行った結果、使用中の浄化装置のホースを誤って取り外したことにより、キャビティ水の漏えいが発生し、ただちに同装置のポンプを停止させたことがわかった。

漏えいは、浄化装置が設置されている32Mの床面にある目皿を通じて格納容器下部の格納容器サンプに達し、サンプ水位を上昇させるとともに、漏えいした床面より下のフロアでも漏えい水により濡れた。濡れた床面の範囲は、32Mフロアに約20m²、24Mフロアに約4m²、17Mフロアに約2m²である。

漏えい量は、格納容器サンプの水位上昇分と床面への漏えい量を合わせて約400ℓである。漏えいした水の放射能濃度は8.12Bq/ccであり、放射エネルギーは約3.25×10⁶Bqと推定された。また、この漏えいにより作業員1名の足首付近が濡れたが、サーベイの結果、身体に放射能の汚染はなかった。

なお、原子炉の燃料は全て取出した状態であり、安全上の問題はなく、外部への放射能の影響はない。

*1：仮設キャビティ浄化装置

キャビティ水を浄化するために設置していた仮設の装置。ポンプにより汲み上げたキャビティ水をフィルタにより浄化して再びキャビティに戻している。

問い合わせ先(担当：小西) 内線2353・直通0776(20)0314
--

美浜発電所 3号機 格納容器内での水漏れについて

発生場所および水漏れの状況

原子炉格納容器

